

本宮左岸・右岸地区堤防整備事業



近年における主な洪水被害【本宮地区】



阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言

阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言

平成28年4月

阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇話会

まちづくりと一体となった整備構想図 福島河川国道事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



まちと一体となった河川空間を目指して～かわまちづくり～

阿武隈川本宮左岸地区周辺は、安達太良神社をはじめ、歴史・文化的史跡が点在し、またJR本宮駅を中心とした中心市街地に接していることから、回遊性のポテンシャルの高い地域となっています。

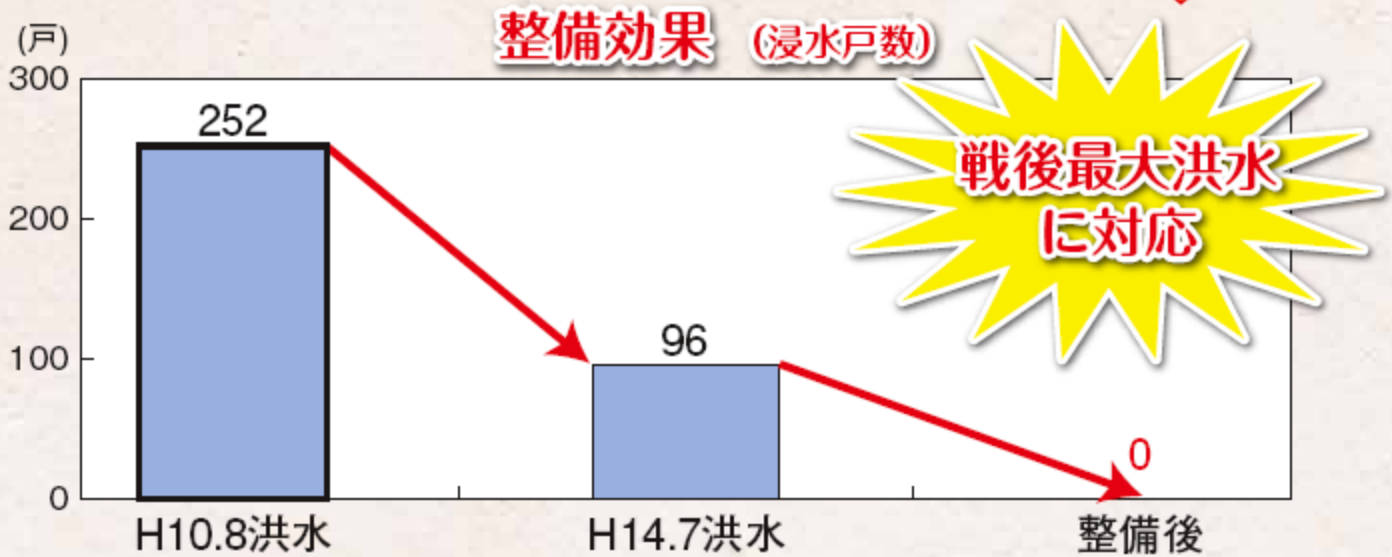
このことから、まちづくりと一体となった治水対策とあわせ、「かわまちづくり」により、より利用しやすい河川空間の整備を進めていきます。かわまちづくりは、「ワークショップ」により、地域の方々の意見を聴きながら整備を行います。

Aゾーンの整備構想(案)

【ワークショップの様子】

主要な洪水による被害

発生年月	要因	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)	備考
H10.8	前線	251	252	洪水痕跡調査より (内水被害を除く)
H14.7	台風6号	84	96	



堤防整備イメージ (B・Cゾーンの一部地区)

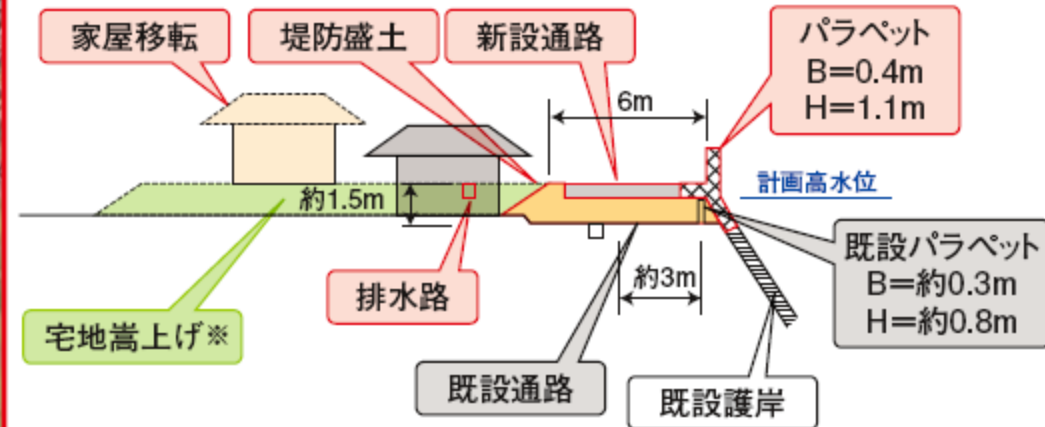


【現況の堤防に隣接している住宅地】

堤防整備と合わせ背後宅地を嵩上げすることにより、街並みの再生とともに、まちと一体となった河川空間が創出されます。

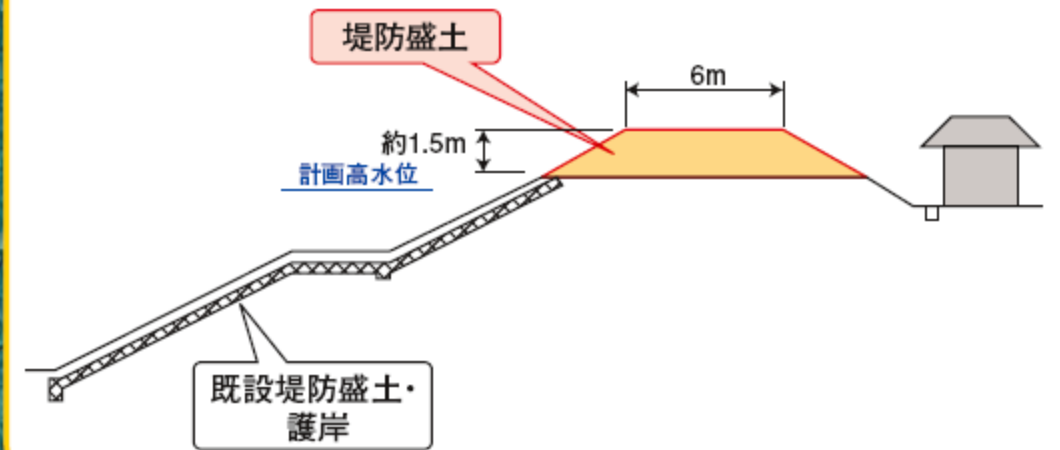


左岸地区 標準断面図



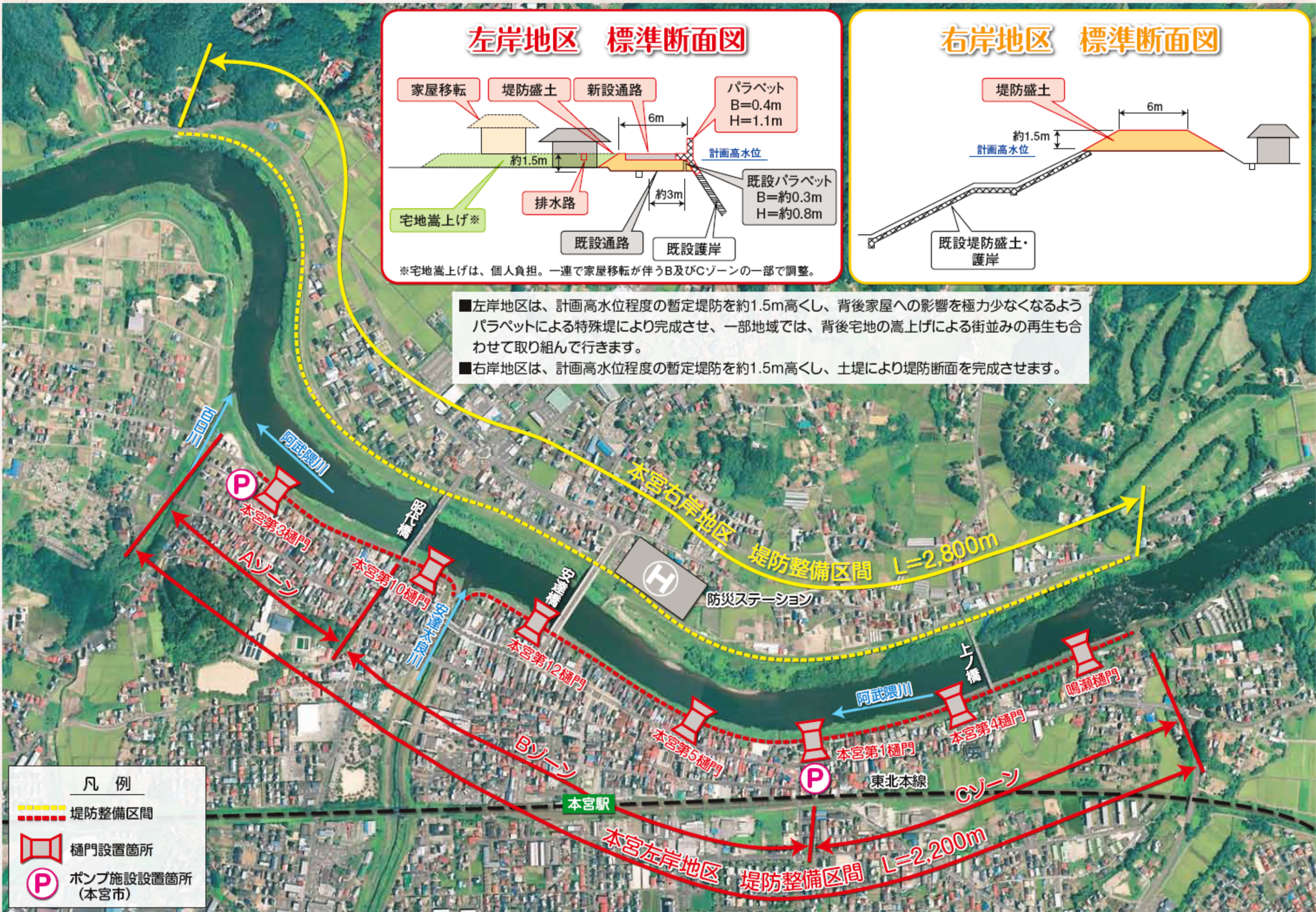
※宅地嵩上げは、個人負担。一連で家屋移転が伴うB及びCゾーンの一部で調整。

右岸地区 標準断面図



■左岸地区は、計画高水位程度の暫定堤防を約1.5m高くし、背後家屋への影響を極力少なくするようパラベットによる特殊堤により完成させ、一部地域では、背後宅地の嵩上げによる街並みの再生も合わせて取り組んでいきます。

■右岸地区は、計画高水位程度の暫定堤防を約1.5m高くし、土堤により堤防断面を完成させます。

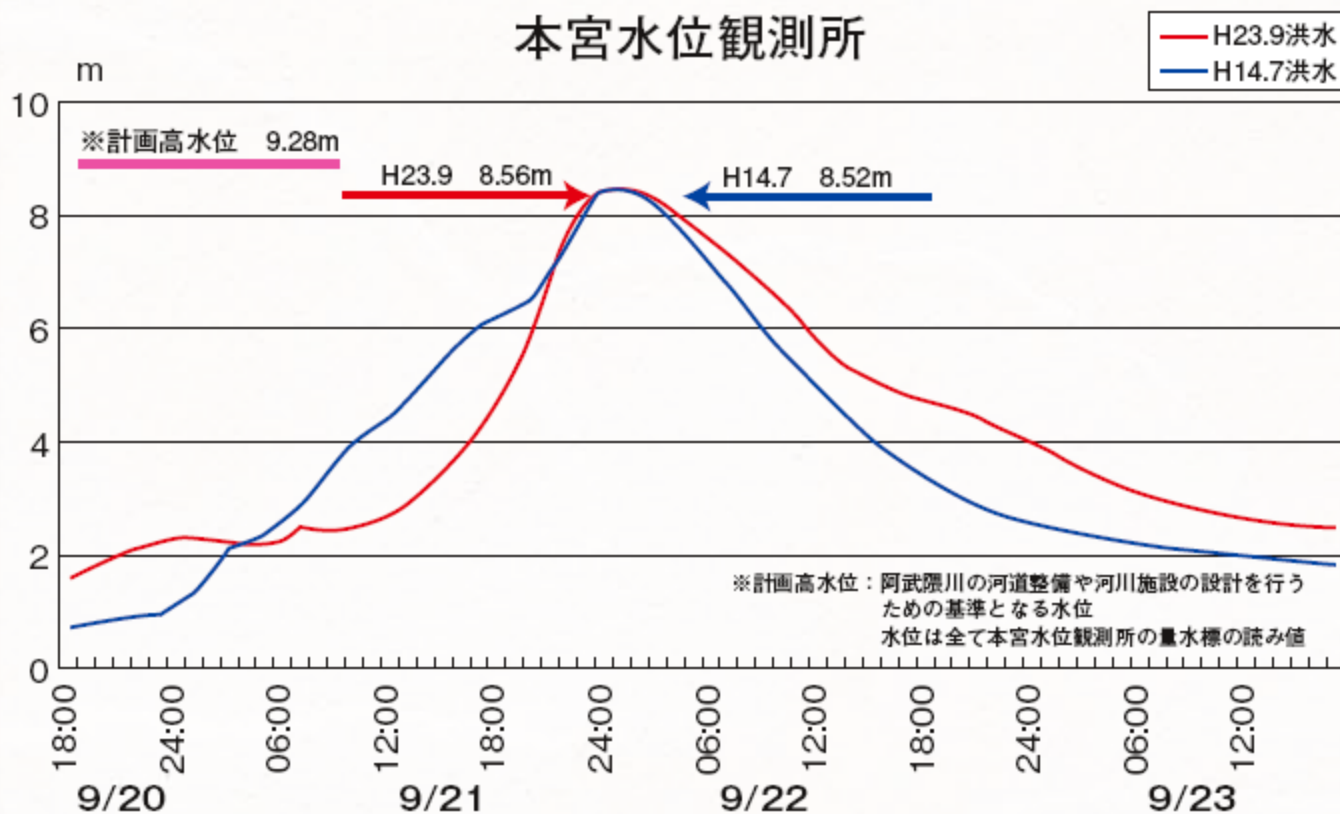


- 凡例
- 堤防整備区間
 - 堤防整備区間
 - 樋門設置箇所
 - P ポンプ施設設置箇所 (本宮市)

平成23年9月洪水の状況

阿武隈川では、昭和61年8月、平成10年8月、平成14年7月と度々洪水に見舞われ、そのたび本宮地区においても平成の大改修を始めとした河川改修が行われてきました。

平成23年9月に発生した台風15号による洪水は、本宮水位観測所においても戦後最大の水位を記録しましたが、これまでの事業の効果により大きな被害は発生しませんでした。



H23.9洪水では、同規模のH14.7洪水と比較し浸水区域が大幅に減少

しかし、本宮地区の堤防は、左岸・右岸とも**必要な堤防高に対し約1.5m低く**、さらには**設計上洪水に耐えられるだけの堤防断面が確保されていない**状況となっており、近年頻発しているゲリラ豪雨や過去を上回る洪水が発生した場合には、甚大な被害が予想されます。

治水対策と一体となったまちづくり

- ▶本宮左岸地区の堤防整備は、従来の堤防整備方式では、家屋、商店などへの影響が大きく、**市街地の空洞化が懸念**される。
- ▶一部区域では、**街路事業による影響も大きい**。



- ▶堤防整備にあたっては、河川事業のみならず、阿武隈川に隣接する住宅地や商業地、さらに街路等を含めた「**まちづくり方針を踏まえた総合的な計画の検討**」が不可欠。



- ▶当該地区が目指すまちづくりについて議論するため、平成19年度に**日本大学工学部長林教授を座長**とし、有識者、地域住民、本宮市、福島県、国土交通省からなる「**阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会**」を設立。

- ▶平成20年3月には、「**阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言**」をとりまとめた。

- ▶提言書には、**本宮左岸地区のまちづくり方針となる構想図(左図参照)や今後の事業の進め方**などが盛り込まれた。

阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会

懇談会委員	
【座長】	長林 久夫 日本大学工学部土木工学科教授
本宮市区長会連絡協議会長	
本宮商工会長	
族Mot.Com 6とみや代表取締役	
阿武隈川本築堤早期実現期成同盟会長	
本宮市長	
本宮市議会議長	
福島県	県北建設事務所長
国土交通省	福島河川国道事務所長

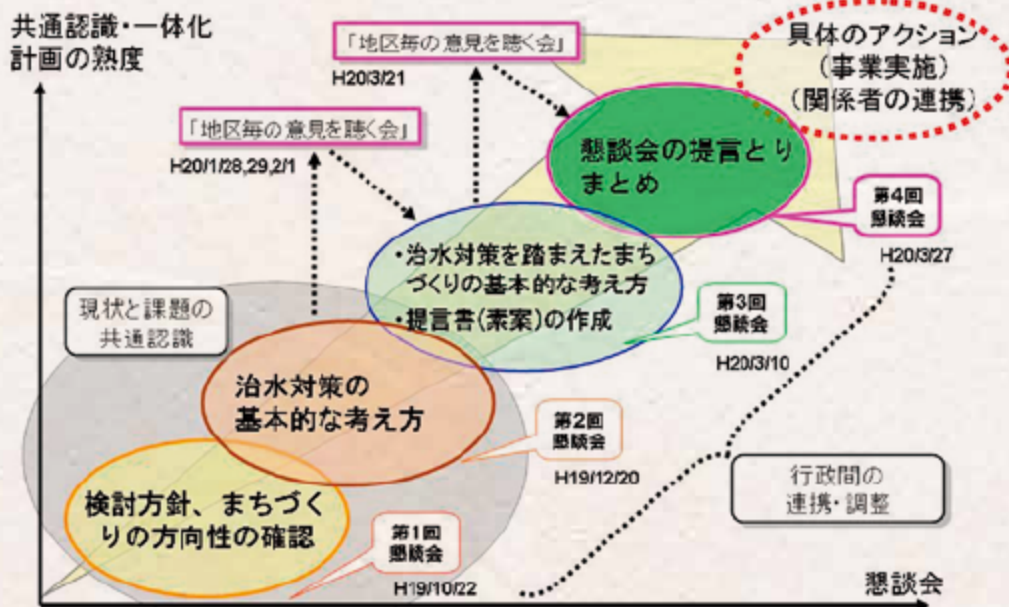


【住宅が堤防に隣接】



【まちづくり懇談会】

提言書が出来るまで (H19年度懇談会の経緯)



- ▶今後は、提言書を具体化するため、**地域住民をはじめとする関係者と、より一層議論を深めながら事業を展開**。

提言書を具体化するための方策



【設計懇談会の様子】



【まちあるき勉強会の様子】

浸水想定区域【本宮地区】 H14.4公表

※浸水区域のみ表示しています。
水深は、福島河川国道事務所
ホームページでご覧頂けます。



浸水想定区域は、水防法第14条に基づき、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保するため、河川整備の計画の基本となる降雨により、河川がはん濫した場合に想定される浸水区域・水深を公表するとともに、関係市町村長に通知するものです。

阿武隈川の計画の基本となる降雨は、150年確率規模（概ね平成10年8月豪雨の約1.5～2倍程度の流量）想定しています。

浸水想定区域は、関係市町村が作成する「地域防災計画」や「洪水ハザードマップ」などに活用されています。

ニュースレターによる情報提供



福島河川国道事務所ホームページ
<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

【お問い合わせ先】 国土交通省福島河川国道事務所 工務第一課 TEL 024-546-4331(代)
本宮市 阿武隈川左岸築堤対策室 TEL 0243-33-2618